

## 男女の平等感について (1)

日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

愛西市では「第5次愛西市男女共同参画プラン」策定のためアンケートを実施いたします。市内の満18歳以上の方から無作為に選ばれた2,000人の方にご協力をお願いしております。

無記名で回答いただき、統計的に処理いたしますので、どうぞご協力ください。

### 問1

あなたは、10年前に比べて男女平等が進んだと思いますか。 必須

1つ選択

1. 大いに進んだと思う

2. やや進んだと思う

3. あまり進んでいないと思う

4. まったく進んでいないと思う

5. その他

6. わからない

その他（具体的に） 必須

## 男女の平等感について (2)

### 問2

あなたは、次のA～Hのそれぞれの項目について、男女の地位は平等になっていると思いますか。（それぞれ1つ選択）

【選択肢】

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている

A. 家庭生活 必須

選択してください

B. 職場 必須

選択してください

C. 学校教育の場 必須

選択してください

D. 地域活動の場 必須

選択してください

E. 政治の場 必須

選択してください

F. 法律や制度上 必須

選択してください

G. しきたりや習慣 必須

選択してください



H. 社会全体 必須

選択してください



## 生活・教育などについて (1)

問3

あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか。

必須

1つ選択

1. 賛成

2. どちらかといえば賛成

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば反対

5. 反対

## 生活・教育などについて (2)

問4

あなたは、現在、配偶者（パートナー）と暮らしていますか。 必須

どちらか選択してください。

はい

いいえ

問4-1

あなたの家庭では、次のA～Kのそれぞれの項目について、主に誰が行っていますか。（それぞれ1つ選択）

【選択肢】

1. 自分
2. 自分・配偶者（パートナー）
3. 配偶者（パートナー）
4. その他の人
5. 家族全員
6. 該当しない（H～K）

A. 家の中の掃除 必須

選択してください



B. 洗濯 必須

選択してください



C. 買い物 必須

選択してください



D. 食事のしたく 必須

選択してください



E. 食事の後片付け 必須

選択してください



F. ごみ出し 必須

選択してください



G. 家計の管理 必須

選択してください



H. 育児、乳幼児の世話 必須

選択してください



I. 看病や介護 必須

選択してください



J. 町内会行事などへの参加 必須

選択してください



K. 授業参観などの学校行事への参加 必須

選択してください



## 生活・教育などについて (3)

問5

子どもの男女平等の関係のため、親や大人が心がけるとよいと思うことはなんですか。

必須

3つまで選択

- 1. 子どもとの会話の中で、性別に関する固定観念を押し付けない
- 2. 家事や子育て、介護などについて、性別に関わらず学習させる
- 3. 性別に関わらず、子どもたち全員が協力して取り組める機会を設ける
- 4. お互いを思いやり、尊重し合う気持ちを養う
- 5. 子どもの進路について、積極的に話し合う
- 6. 性に関する正しい知識を身につけさせる
- 7. 家庭や地域で、様々な性別の人々が対等に協力し合う姿を見せる
- 8. その他
- 9. 特にない

その他 (具体的に) 必須

## 生活・教育などについて (4)

問6

あなたは、地域の防災・災害対策の体制づくりにおいて、男女共同参画の視点で特に何が必要だと思えますか。

必須

(2つまで選択)

- 1. 男女共同参画の視点での防災に関する研修会などの学習機会
- 2. 防災訓練や防災研修会へ男女ともに積極的に参加すること
- 3. 女性の防災リーダーや女性消防団員等の育成や役員への登用
- 4. 自主防災組織に女性が増えるように努めること
- 5. 全ての性別の人がともに安全・安心に避難所を利用するための避難所運営マニュアル
- 6. その他

その他（具体的に） 必須

## 社会参加について（1）

問7

生活の中での優先度についてお聞きします。あなたの「A. 希望」、「B. 現実（現状）」に最も近いものを、選んでください。  
(それぞれ1つ選択)

選択肢

- 1. 仕事を中心とした生活
- 2. 仕事と家庭生活のバランスが取れた生活
- 3. 家庭生活(家事、育児など)を中心とした生活
- 4. 地域活動を大切にした生活
- 5. 趣味や自由な時間を大切にした生活
- 6. その他

A. 希望 必須

選択してください



B. 現実（現状） 必須

選択してください



## 社会参加について（2）

問8

今後、全ての人が家事や地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

必須

(あてはまるものすべて選択)

- 1. 家事などの参加に関する抵抗感をなくすための啓発を行う
- 2. 家庭やコミュニティ内でのコミュニケーションを活性化する
- 3. 役割分担についての各個人の考え方を尊重する社会を築く
- 4. 家事や育児、介護、地域活動についての社会的評価を高める
- 5. 働き方を見直し、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
- 6. 育児休暇や介護休暇などの休暇を取得しやすい環境を整備する
- 7. 子どもの頃から、すべての人が家庭生活や地域活動を共同で行うことの重要性を教える
- 8. その他

その他（具体的に） 必須

## 仕事について（1）

問9

あなたは、仕事に従事していたことがありますか。 必須

（どちらか選択）

1. はい

2. いいえ

問9-1

あなたは、役職（管理職以上）に就いていますか（就いていましたか）。

必須

（どちらか選択）

1. はい

2. いいえ

問9-2

あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

必須

（あてはまるものすべて選択）

1. やりがいのある仕事ができる

2. 賃金が上がる

3. 能力が認められた結果である

4. 家族から評価される

5. 自分自身で決められる事柄が多くなる

8. 責任が重くなる

9. 仕事と家庭の両立が困難になる

10. その他

11. 特にない

その他（具体的に） 必須

問9-3

あなたの職場（元職場）では、次のA～Iの項目について、公平な扱いがされていると思いますか。（それぞれ1つ選択）

【選択肢】

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている

A. 募集や採用 必須

選択してください



**B. 賃金** 必須

選択してください

**C. 業務（内容・責任）** 必須

選択してください

**D. 昇進・昇格** 必須

選択してください

**E. 管理職への登用** 必須

選択してください

**F. 能力評価** 必須

選択してください

**G. 研修（機会・内容）** 必須

選択してください

**H. 働き続けやすさ** 必須

選択してください

**I. 休暇の取得しやすさ（育児・介護休暇を含む）** 必須

選択してください



## 問9-4

**あなたは、仕事を辞めたことがありますか。** 必須

(どちらか選択)

1. はい

2. いいえ

## 問9-5

**あなたが、仕事をやめた理由は何ですか。** 必須

(主なもの1つ選択)

1. 結婚のため

2. 出産・育児のため

3. 親や病気の家族の介護をするため

4. 労働条件に不満があったため

5. 仕事の内容が合わなかったため

6. 病気や怪我のため

7. ハラスメント（嫌がらせ）を受けたため

8. 会社の都合

9. 資格取得や進学のため

10. その他

その他 必須

## 仕事について (2)

問 1 0

あなたが、女性の割合が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。 必須

(あてはまるものすべて選択)

1. 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員

2. 都道府県・市町村の首長

3. 企業の経営者

4. 職場の管理職

5. 弁護士・医師などの専門職

6. 大学・企業などの研究者

7. 自治会・PTAなどの役員

8. その他

9. 特にない

その他 (具体的に) 必須

## 仕事について (3)

問 1 1

以下の項目について、あなたは、誰が行うのが良いと思いますか。

(それぞれ1つ選択)

【選択肢】

1. 男性が行うのがよい
2. どちらかというとな男性が行うのがよい
3. 性別は関係ない
4. どちらかというとな女性が行うのがよい
5. 男性が行うのがよい
6. わからない

A. 家庭よりも仕事を優先する 必須

選択してください



B. 仕事よりも家庭を優先する 必須

選択してください



C. 子どもが生まれたら、育休を取って一定期間子育てに専念する 必須

選択してください



## 配偶者等からの暴力 (DV) について (1)

問 1 2

あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。 必須

(あてはまるものすべて選択)

- 1. 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を「DV」と呼ぶこと
- 2. DVには身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれること
- 3. DV被害者支援のため「配偶者暴力防止法」が制定されていること
- 4. 配偶者暴力相談支援センターで、相談や一時保護を行っていること
- 5. DV発見者は、センターや警察に通報するよう努めなければならないこと
- 6. その他
- 7. 知っていることはない

必須

その他（具体的に）

## 配偶者等からの暴力（DV）について（2）

問13

DVの相談窓口について、知っているものは次のうちどれですか。 必須

(あてはまるものすべて選択)

- 1. 愛知県女性相談センター
- 2. 愛知県女性相談センター海部駐在室
- 3. 愛知県警察本部
- 4. 名古屋法務局
- 5. 愛西市役所 社会福祉課
- 6. その他
- 7. 知らない

その他 必須

## 配偶者等からの暴力（DV）について（3）

問14

あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。

必須

(あてはまるものすべて選択)

- 1. 暴行を受けたことがある
- 2. 殴るふりをされるなど、脅されたことがある
- 3. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたことがある
- 4. 交友関係や電話・メールを細かく監視されたことがある
- 5. 何を言っても長期間無視され続けたことがある
- 6. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「頼りにならない」と言われたことがある
- 7. 生活費を渡さないなど、経済的に押さえつけられたことがある
- 8. 外で働くなと言われたり、仕事を辞めさせられたりしたことがある
- 9. いやがっているのに性的行為を強要されたことがある
- 10. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられたことがある
- 11. そのようなことはなかった

14-1

前の問で「1. ～10.」のいずれかに答えた方にお聞きます。

配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

(どちらかを選択)

必須

- 1. 相談した
- 2. 相談しなかった

14-2

相談しなかったのは、なぜですか。 必須

(あてはまるものすべて選択)

- 1. 誰も相談する人がいなかったから
- 2. どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
- 3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 4. 相談しても無駄だと思ったから
- 5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 6. 相談先の担当者や相談者の言動により不快な思いをと思ったから
- 7. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 8. 世間体が悪いから
- 9. 他人を巻き込みたくなかったから
- 10. そのことについて思い出したくなかったから
- 11. 自分にも悪いところがあったから
- 12. 相談するほどのことでもないと思ったから
- 13. その他

その他 必須

## 男女共同参画社会について (1)

問15

あなたは、次のA～Iのそれぞれの用語について知っていますか。  
(それぞれ1つ選択)

**A. 男女共同参画社会** 必須

- 1. 知っている
- 2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない
- 3. 知らない

**B. ジェンダー** 必須

- 1. 知っている
- 2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない
- 3. 知らない

**C. セクシュアル・ハラスメント** 必須

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

**D. ポジティブ・アクション** 必須

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

**E. ワーク・ライフ・バランス** 必須

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

**F. LGBTQ** 必須

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

**G. 男女雇用機会均等法** 必須

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

**H. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律** 必須

(DV防止法)

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

**I. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律** 必須

(女性活躍推進法)

1. 知っている

2. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない

3. 知らない

## 用語解説

### A. 男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

### B. ジェンダー

社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のことを指すもの。

### C. セクシュアルハラスメント

相手の意に反した性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、衆目に触れる場所へのわいせつな写真の掲示など、様々な態様のものを含む。

### D. ポジティブ・アクション

様々な分野で、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内で、いずれか一方に対して機会を積極的に提供し実施するもの。

### E. ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働きながらも、家庭や地域生活においても多様な生き方が選択・実現できること。

### F. LGBTQ

女性の同性愛者（Lesbianレズビアン）、男性の同性愛者（Gayゲイ）、両性愛者（Bisexualバイセクシュアル）、こころの性と身体の性の不一致（Transgenderトランスジェンダー）、自身の性的指向や性自認が定まっていない人（Questioningクエスチョニング）の頭文字をとってつくられた言葉。

### G. 男女雇用機会均等法

職場における男女の均等取扱い等を規定した法律

### H. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

配偶者からの暴力による通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図るための法律

### I. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）

働く場において女性が活躍できる社会をつくるための法律

## 男女共同参画社会について（2）

### 問16

あなたは、男女共同参画社会をつくるため、個人が心掛けることとして何が最も重要だと思いますか。（1つ選択）

必須

1. 「男らしく」「女らしく」ということにとらわれず、すべての人が「自分らしく」行動する

2. すべての人が独立した人格としての自覚と責任意識を高める

3. 性別に関する偏見や先入観を持たないように心掛ける

4. すべての人が互いに対等な存在として評価・尊重する意識を持つ

5. その他

その他 必須

## 男女共同参画社会について（3）

### 問17

**男女共同参画社会のため、行政は何に力を入れていくべきですか。** 必須

(あてはまるものすべて選択)

※行政(国・県・市)

- 1. 法律や制度の面で見直しを進める
- 2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 3. 民間企業・団体(自治会や地域活動団体を含む)等の女性のリーダーを養成する
- 4. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う
- 5. 女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実する
- 6. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
- 7. 子育てや介護等で仕事を辞めた人の再就職の支援をする
- 8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
- 9. 保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する
- 10. 性別に関わらず、互いの理解や協力についての学校教育・社会教育を充実する
- 11. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する
- 12. その他

**その他(具体的に)** 必須

## あなた自身のことについて

問18

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことをお伺いします。

F 1

**あなたの性別をお答えください。** 必須

(1つ選択)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 答えたくない、わからない、その他

F 2

あなたの年齢をお答えください。 必須

(1つ選択)

1. 18～29歳

2. 30～39歳

3. 40～49歳

4. 50～59歳

5. 60～69歳

6. 70歳以上

F 3

あなたの職業をお答えください。 必須

(1つ選択)

1. 勤め人 (パートタイム・アルバイトなどを含む)

2. 自営業 (農林漁業)

3. 自営業 (商・工・サービス業)

4. 自由業

5. 内職

6. 無職

7. 学生

8. その他

F 3 - 1

あなたの就労形態をお答えください。 必須

F 3で「1. 勤め人 (パートタイム・アルバイトなどを含む)」と答えた方にお聞きます。(1つ選択)

1. 常勤の仕事

2. 非常勤の仕事 (パート・アルバイトなど)

3. その他

その他 (具体的に) 必須

F 4

婚姻の状況をお答えください。 必須

(どちらかを選択)

1. 既婚 (事実婚、パートナーと暮らしている場合も含む)

2. 未婚・離婚・死別等により配偶者なし

F 4 - 1

共働きをしていますか。 必須

(どちらかを選択)

F 4で「1. 既婚」と答えた方にお聞きします。

1. している

2. していない

F 5

お子さんはいますか。 必須

(どちらかを選択)

1. いる

2. いない

F 6

家族構成をお答えください。 必須

(1つ選択)

1. ひとり暮らし

2. 夫婦のみ (一世代家族)

3. 親と子ども (二世世代家族)

4. 親と子どもと孫 (三世世代家族)

5. その他

その他 (具体的に) 必須

男女共同参画に関して、ご意見がございましたらお聞かせください。 任意

0/400

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。